



みらい

編集・発行 神奈川県助産師会 広報委員会 横浜市中区富士見町3-1 総合医療会館6階
Tel 045(262)4201 Fax 045(348)9020 (受付時間 月～金 9:00～17:00)
ホームページ <http://kanagawa-josanshi.com/> メール office@kanagawa-josanshi.com

これからの助産院の役割を見出すヒントとして、助産所が併設している施設を紹介したいと思います！

助産院のこれからを考える

さくら訪問看護ステーション・さくらバース 院長 勝俣喜代子



さくら訪問看護ステーションは、さくらバース助産院とともに地域に出向いて出産後のお母さんと赤ちゃん、そのご家族をサポートしています。

妊娠中から出産・産後の育児期まで継続した関わりができる助産院が周産期に焦点をあてて訪問看護事業所を立ち上げた理由は、出産の高齢化傾向によるNICUを必要とするハイリスク妊娠・出産の増加、核家族世帯の増加により育児サポートが得られにくい社会背景があります。またNICU・GCUベット数不足から在宅医療への移行が推進されるなか、疾病や障害のある小児を自宅でケアする子育て世帯の負担は大きく、特に看護の中心を担う母親には精神的サポートも含め小児の在宅看護サポートのニーズがあり、その役割は大きいと考えたからです。小児と精神の母親を中心とした訪問看護事業は珍しく、日々勉強の毎日で難しい課題にぶつかることも多々ありますが、これからも学び精進してまいりたいと思っております。

ほっこりおもてん写真館



お昼寝タイム (小梅)



小人捕獲 (巨大児母)



おむつ星人 (リキハナ)

ほっこりユニークな写真を募集中
事務局にメールにて受付けています。

研修会案内 詳しくはホームページをご覧ください

- 2017年1月27日(金) 10:00～15:00 於:ウィリング横浜
電話相談員のスキルアップ研修「乳幼児摂食障害と補完食(離乳食)」「周産期のメンタルヘルス」
- 2017年2月4日(土) 10:00～16:00 於:とわ助産院
母子保健指導者スキルアップセミナー 「人を惹きつける話し方」～プレゼン能力がクラスを変える!!～
- 2017年2月5日(日) 10:00～11:00 於:とわ助産院
家族で聴きたい「いのちのはなし」(低学年向き)
- 2017年2月9日(木) 13:30～16:30 於:神奈川県総合医療会館
勤務部会研修会「CTGモニター」
- 2017年2月19日(日) 13:30～17:00 於:とわ助産院
NCPR Sコース



事務局より

2月23日に平成29年度の会費が引き落としされます。口座の残金の確認をお願いいたします。転居等、会員情報の変更は、1月中旬に事務局まで、連絡をお願いいたします。

会員募集

随時、入会を受け付けています。詳しくはHP、又は事務局までお問い合わせください。

編集後記

来年度は助産師マップ改訂のため、ニュースレターは年一回になりますことをご了承ください。今年も残すところあと僅かになりました。皆様、よいお年をお迎えください。(野村)

南北関東地区研修会 in かながわ を開催して

実行委員長 村上明美

9月23日(金)・24日(土)に横浜山下町のローズホテルにおいて、「助産師ブランドの創生と確立 かながわからの発信」をテーマに南北関東地区研修会を開催いたしました。関東地区のみならず、全国各地から総勢200名ほどの助産師が横浜に集結しました。

地域に根差した助産活動をどのように助産師ブランドとして確立させ、発展させていくべきかについて、多様な専門家の講演を聴き、参加者同士でともに考え、活発な意見交換を行いました。

研修会初日には、神奈川県出身の元内閣総理大臣 小泉純一郎氏が我々助産師のために駆けつけてくださり、穏やかな笑顔を活かすつももしっかりとした口調で、「信念を持つこと」や「時代に柔軟に対応すること」の大切さを話してくださいました。

夜の懇親会は、おいしい中華料理と素晴らしいアトラクションで参加者の期待を裏切ることなく、神奈川県助産師会らしい活気あふれる楽しいひと時を皆様と過ごしました。

参加者みんなが元気になり、明日からも頑張ろうと思える2日間でした。参加してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

南北関東地区研修会 in かながわを終えて

研修会会長 仲 かよ

2年前より村上実行委員長をトップに理事全員で準備に取り掛かりました。

まず、日程を決め会場選びから始まりました。次にテーマを決め、講師はどなたに依頼するか、神奈川県助産師会としてアピールするためには内容をどのように考えたらよいのか、かなりの時間をかけ検討してきました。その間に前研修会の茨城県には理事全員が参加し、具体的なイメージづくりとその後の運営に参考にさせて頂きました。内容が具体化すると会議もスムーズに進行していきましたが、細かな詰めをしていく段階での各担当者の苦労は相当なものであったと思います。当日は小泉純一郎元総理大臣の講演では会場も満員の盛況で、それ以外の講演も皆さん熱心に聞いて下さっていました。

又、懇親会は神奈川県助産師会ならではの盛り上がりで皆さん楽しかったという声を聞き嬉しく思いました。2日間の参加者延べ300名を超えることができ、この研修会は成功したのではないかと自負しております。この一大事業が成功できたのは理事、役員の方の協力の賜物と、更に会員の参加によるものと感謝申し上げます。

南北関東地区研修会 in かながわのシンポジウムを終えて



みやした助産院 宮下 美代子

今回開催された産後ケアのシンポジウムにおいて、たくさんの方々が参加され、意見交換の場では活発な討議がされ産後ケアに関する意識の高まりが伺えました。

産後母子ケア事業を、横浜市と助産所が、全国に先駆けて取り組み始めましたが、今では、全国各地に産後母子ケア事業が広がりつつあります。それぞれの地域の特徴を生かした取り組みは、お互いに共有できる内容でもあり、今後の母子ケアに大いに生かせるものだと思います。産後の母子支援を行政とともに取り組むようになったことで、母子とその家族が抱える問題をお互いに共有し、話し合う良い機会となっていると思います。

今後、さらに、医療、行政、地域が連携し、妊娠中から子育て時期まで、切れ目のない支援を一層強化していきたいと思います。

南北関東地区研修会 in かながわ 開催しました！



南北関東地区研修会 in かながわのシンポジウムを終えて



かもめ助産院 鈴木 令佳

研修会 2 日目に神奈川県における産後ケアの展開というテーマで、私を含め 3 人がシンポジストとして話をしました。それぞれの地域で委託目的の違いはあるものの、産後ケアは産後の母子にとってニーズの高いものであり、必要な支援であることは共通していると思いました。そして産後ケアで助産所の質の高いケアを受けることで、助産所の良さを知ってもらうことが、地域に助産所がやはり必要だと認知していただくきっかけにもなると改めて思うようになりました。今後も赤ちゃんとお母さんの笑顔のために助産師力を磨いて頑張りたいと思います。



南北関東地区研修会 in かながわ 懇親会に参加して 広報委員会 上野典子

今回、研修会全体から懇親会にわたり、カメラ・広報担当として参加いたしました。懇親会も 110 名の参加者とともに、研修会同様盛り上がり、楽しく充実した時間となりました。神奈川県知事黒岩祐治様にもご参加いただきました。

研修会中の写真をスライドで上映し、すてきな歌声も響き、「365 歩のマーチ」でみんなが一体となり、そして最後には神奈川県助産師会おなじみの「ブルーライトヨコハマ」をそれぞれに配られたペンライトを照らして全員で踊り、大盛り上がりで終わりました。

助産師のエネルギーはなんてパワフルなのでしょう！！やはりお産や赤ちゃんに囲まれて仕事をしていることで元気をもらっているんですね。

女性が健康に妊娠出産育児を行える土台作りを、妊娠する前からできるよう、さらに女性の一生が明るくなるよう、都道府県の垣根を超え、手を取り合い、助産師というブランドを誇りに、この溢れんばかりのパワーを地域の女性に届けたい！！という気持ちが高まりました。

次年度研修会担当の新潟県助産師会のお話もあり、神奈川県とは違った角度から助産師の在り方を考え、とても学びが深くなりそうで、今から楽しみです。

南北関東地区研修会 in かながわに参加して



高増加代子

無数にある仕事の中に、「助産師」は埋もれてしまっていないでしょうか。助産師は、決して目立つ必要はないですが、何かの折に触れて、女性やその家族に、すぐに見つけてもらえる存在でしょうか。

古くから、助産師が当たり前のようにやってきたものに、助産師の資格を持たない人たちが参入してくる様子を見聞きする度に、私の頭に浮かぶ問いです。

その問いへの答えを得るためのヒントが、この研修会にあったと思います。「助産師ブランド」をつくり、より発展させていくために、どう働いていくのかを、私たち一人ひとりが深く考える、またとない良い機会になったように思います。

この貴重な時間を共有した多くの助産師が、それぞれの場所から、そして、仲間同士が手を携える助産師会から、少しずつでも発信していくことを願います。

南北関東地区研修会 in かながわに参加して



富井 悦子

先日、横浜にて「南北関東地区研修会 in かながわ」が開催され、2日間参加致しました。受付ボランティアを微力ながらさせて頂き、保健指導部会員として部会集会の準備に関わらせて頂きました。

研修会は、どの講演も興味深く惹きつけられる内容で、助産師に期待されること、ブランド力とは・・・について考える機会になりました。一番楽しみにしていた産後ケア事業の展開についてのシンポジウムでは横浜市、横須賀市の実情を知ることが出来ました。特に高齢初産の増加によりニーズの高まりを感じていますが、母親の心身に寄り添う言葉かけ、対応の大切さを先生方のお話からも感じ、日々頑張ろうという気持ちを持つことが出来ました。